

劔岳冬期山行

1 期 間

2020年12月27日～2020年12月29日(当初予定30日まで)

2 メンバー

小林(リーダー)、中嶋、西川、梶井

3 ルート

劔岳早月尾根

4 Day 1

26日22時30分に大阪駅に集合し、車で富山県に向け前進。

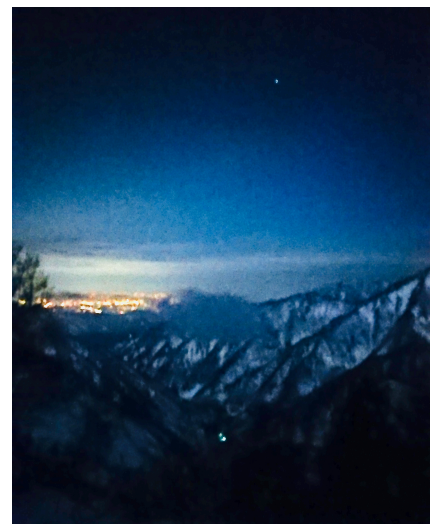
27日03時10分に伊折に到着。車中にて仮眠をとった後、06時30分薄暗い中をヘッドランプを点けて前進開始。馬場島までの平凡な車道を約8km進み、09時50分馬場島に到着。なお、ここまでの積雪状況は道路脇の林内で50cmから深いところで1m位であった。

その後、富山県警に入山の報告をして、ここで天候、他パーティ等の情報提供を受けた。例年であれば登山者にヤマタンを貸し出していたようだが、今年からは廃止されて無いようだ。その代わりではないが、地元の高校で作られた安全祈願の乾パンをいただいた。

10時20分再び前進開始。これより早月尾根の登りが始まる。天候は曇りだが気温はそこまで低くなく、行動していると多くの汗をかく。ルート上は先行者のトレースがあり順調に高度を上げていく。12時00頃松尾平(標高約1000m)を通過。ここでトレースにつられて進む方角を間違えるも、先頭的小林さんが気づき進路を修正し復旧。自分自身もトレースがついていても結節時はコンパスで進行方向を確認しなければと反省。

14時00頃(標高1450m)このまま前進して早月小屋まで近付き過ぎても、翌日の行動時間が中途半端になるので現在地を幕営地とする。それからスコップを使用して雪を均しテントを設営し、水を作って雪山ならではの生活術を学ぶ。その後、一杯やりながら夕食を済ませると空はいつの間にか暗くなり、遠くには街の灯りがキレイに見えた。

翌日の行動はこれからの寒波襲来による天候悪化、先行者のトレース等を考慮し協議した結果、明朝から一気に頂上までアタックする事に決定した。



5 Day 2

03時00分起床後に食事、所要の準備を済ませ04時45分に幕営地を出発する。まだ日の出前なので暗いが、空は曇っているのか星は見えない。現時点で風はそこまで強くなく、気温もそこまで低くないのか寒くない。

出発して1時間位（標高約1800m）で前方にテントの灯りを確認した。するとそこから少しの間隔を置いて複数のテントがあった。そしてそのテントを取り過ぎるとトレースは無くなっていた。これで我々が先頭パーティとなる。ワカンを装着して夜明けとともにラッセルが始まった。ラッセルしながらの前進では先頭を交代しながら前進するが、積雪は多く中々苦戦させられた。時には急勾配の斜面で自分の身長より高い雪壁にあたった。そんな時はピッケルを両手で水平に持ち、目の前の雪を切り崩して足元に落とし、膝で踏み固めてから足を乗せて一步一步進んだ。また、時には雪に埋もれた木の上を通ると、木の周辺は空洞になっているのか落とし穴のように足を取られた。そうしていると急激に前進速度は落ちていった。

09時20分ようやく早月小屋に到着した。当初の見積もりでは早月小屋まではトレースがついていて05時00分頃には着く予定であったが考えが甘かった。この時点で時間的にもルート上の状況的にも登頂は厳しくなったが、行ける所まで登ると決めた。

09時40分再び前進を開始する。天気予報では28日は比較的良い予報であったが小屋より上は時に強風が吹き、雪が顔に叩きつけて視界も悪くなっていった。それでも変わらずラッセルは続き、ゆっくりであるが高度を上げていく。

手元の時計で12時00分、高度2467mこの地点で残念であるが引き返すことに決めて、元来た所を降りていく。下りは早いもので、7時間強かけて登ったものを2時間半程で下る。そして14時40分幕営地に帰りこの日の行動を終える。



6 Day 3

04時00分起床、この日は下山日、朝食を済ませテントを撤収し05時50分に出発する。なぜか、この日の夜明け前の月は奇妙なくらいにオレンジ色に光っていた。そして下って行き08時30分に馬場島に到着し、富山県警に下山の報告をして、また平凡な車道を進んでいく。その後、10時55分に伊折の車の位置に到着して山行を終えた。

なお、この日の天候は予報に反し晴れていて、当初の計画通りに行動すれば登頂でき

たかもと話していたが、後に調べたところ山頂周辺は強風が吹き、登頂を断念したパーティもいたみたいで、結果として全員無事に下山できたので良かったと思う。

7 総括

今回の山行にあたり、アイゼントレーニング、歩荷、レスキュー、木曾駒山行と雪山に備えてのトレーニングを実施し、冬の劔岳に挑み、結果として登頂は出来なかったが雪山での行動、生活術等、得るものが多くあり大変満足できた。そして機会があればいつか再挑戦したい。最後にリーダー以下パーティの皆さんに感謝申し上げます。

